



ごあいさつ

皆様には、平素より私ども「熊谷商工信用組合（くましん）」に格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

当組合は、昭和28年に創業し、今年で68年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様のおかげであり重ねて御礼申し上げます。埼玉県北地域のコミュニティバンクとして地域の皆様と共に歩み、今日の経営基盤を築いて参りました。より多くの皆様に当組合の経営内容や営業実績等をご覧頂き、「くましん」をより一層ご理解頂けるよう、今年度もディスクロージャー誌を作成致しました。

令和2年度は世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延で、仕事も生活習慣も様変わりし、新しい日常が出現した驚愕的な一年でした。多くの国々では、感染拡大防止のために経済活動の人為的な抑制を余儀なくされ、これにより急激かつ大幅な景気後退をするに至りました。我が国経済も、その例外ではありませんでした。感染症の拡大に伴い、まずインバウンド需要の減少から消失、続いて中国の生産活動停滞によるサプライチェーンを通じた供給制約による生産の滞りに見舞われました。さらに、主要貿易相手国における経済活動停止に伴い輸出が大幅に減少する等、感染症は経済的な波及経路を拡げながら、我が国経済に甚大な影響をもたらしております。

今期は第9次中期経営計画の初年度となります。スローガンにあります「新しい環境の中での人材育成と収益力強化」とは、コロナ禍で変わった「新しい環境」の中で我々がどの様に活動していくかが社会から問われています。今までの手法だけでは通用しない局面が予想され、従来の知識と経験では判断できない事態に備え、常に変化を敏感に捉え、地元企業の皆さんの資金繰りのご支援に全力で取り組んでまいります。

令和2年度決算につきましては、貸出金期中平均残高が4,921百万円増加し量的な増加は目標の2倍の実績、法人基盤も個人投資基盤も予定以上の成果を上げることができました。しかし残念ながら貸出関連収益が若干未達となり、更に有価証券の運用損益で118百万円のマイナス計上により当期純利益82百万円の赤字となりました。令和3年度も新型コロナウイルスの影響もあり、金融環境は更に厳しいものになると予想しておりますが、「地域経済への貢献」「お客様第一主義」「健全にして堅実な経営」「役職員の生活向上」を経営理念として役職員全員が同じベクトルで進んで参ります。引続きのご愛顧ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

熊谷商工信用組合 理事長 **吉田 豊**